

農都地域部会・バイオマス発電事業化促進WG 終了総会 議事録

- 1 開催日時 2016年4月18日(土) 16:00~16:30
 - 2 場 所 東京都港区立神明いきいきプラザ 集会室
 - 3 出席者 11名
 - 4 審議事項
 - (1) 議長選出
 - (2) 第1号議案 2015年度活動報告・決算報告について
 - (3) 第2号議案 NPO法人農都会議への組織変更について
 - 5 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 出席者の確認の後、議長として杉浦英世が選出された。
 - (2) 議長は、第1号議案について議場に諮ったところ、活動実績にML(メーリングリスト)参加者数を記載すべしとの意見が出され、原案の一部を修正(「ML参加者は、約480名。」及び「MLは約360名。」を追加)することで、承認可決した。
 - (3) 議長は、第2号議案について説明した後、承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。
- 以上をもって議事全部を終了した。

2016年4月18日

農都地域部会・バイオマス発電事業化促進WG 終了総会 議事次第

1 開会

2 議長選出

3 総会成立の確認

4 議案審議

第1号議案 2015年度活動報告・決算報告について

第2号議案 NPO法人農都会議への組織変更について

5 議長解任

6 閉会

<第1号議案>

農都地域部会・バイオマス発電事業化促進WG 2015年度活動報告

2016年4月18日

1. 活動実績

- (1) 農都地域部会（以下、「部会」と略す）は、2015年度、3回の勉強会を主催した。
（以下、勉強会等の詳細は、別添の行事一覧を参照。）
- (2) バイオマス発電事業化促進WG（以下、「WG」と略す）は、2015年度、15回の勉強会（意見交換会、報告会含む）と5回のフィールドワークを主催した。また、運営会議（WG単独）を1回行った。WG内の石炭混焼SGは、9回の会合（勉強会）を行った。
- (3) 上記の勉強会のうち5回とフィールドワーク2回は、部会・WGの共同開催だった。また、共同の運営会議を5回行った。会員セミナーと会員発表会は、各1回開催した。その他、NPOまつり2015へ出展した。
- (4) WGは、2016年2月、第4次提言を取りまとめ、関係省庁・団体へ提出した。

2. 総括

(1) 勉強会等

- ・勉強会やフィールドワーク等については、当初計画を上回る回数を実施し、各回の参加者数も安定していた。石炭混焼SGの活動も活発に行われた。
- ・食・農・環境Gは、昨年度の農薬・有機農業シリーズを発展させて遺伝子組換えの問題に挑戦したが、次年度も引き続き、有機やGMOに取り組むフィールドワークや勉強会を行う。
- ・WGは、次年度は名称を「バイオマスWG」へ変更するが、引き続き、燃料調達の課題を中心に、再生可能エネルギーの導入加速化と地域のバイオマスエネルギーの事業化推進に取り組んでいく。

(2) 提言

- ・政策づくり講座や提言取りまとめ実践講座を行う「政策づくりSG」を、2016年度に設置することになった。
- ・WGは、第4次提言を取りまとめたが、部会は、2015年度も提言取りまとめには至らなかった。2016年度は成果を期したい。

(3) 会員等

- ・WGの会員は、目標の200名には及ばなかったが、更新を含めて約150名となり、着実に増加している。ML参加者は、約480名。
- ・部会は、会員数は変更ないが、食・農・環境Gに加えて、政策づくりSGや獣害対策WG等の発足、NPO法人農都会議への組織変更もあり、2016年度は成果を期したい。MLは約360名。

(4) 運営・財務

- ・運営面、財務面とも、WGの活動による収入に支えられている状況に変化はなく、NPO法人への組織変更にも成果を期したい。

(5) その他

- ・事業化支援については、全国地域エネルギー推進協会（地エネ協）との連携が、ちば里山・バイオマス協議会（ちば協）の発足につながった。引き続き、地域の要望に応じていきたい。
- ・新たな産業の木質バイオマス発電事業の業界団体の必要性を検討する「バイオマス発電事業研究会」の発足を支援していくことになった。
- ・以上の活動は、『市民協働』と『地域協働』の理念に基づいて行われてきたが、組織変更後は、一層、その成果を期したい。

農都地域部会・バイオマス発電事業化促進WG 2015年度会計決算報告

2015年4月1日～2016年3月31日

単位 (円)

科目	予算額	決算額	摘要
<収益>			
会費	505,000	546,000	個人会員 162 名、法人・団体会員 6 名
寄付		0	
事業収益	530,000	642,500	勉強会等 20 回
雑収益		5,019	キャンセル料、預金利息
収益計	1,035,000	1,193,519	
<費用>			
勉強会等開催費用	440,000	864,942	講師交通費、印刷費、消耗品、通信費等
WEB 管理費用	450,000	360,000	
雑費	130,000	0	
費用計	1,020,000	1,224,942	
当期正味財産増減額	15,000	▲ 31,423	

正味財産期首残高	39,387	
当期正味財産増減額	▲ 31,423	
正味財産期末残高	7,964	

本決算報告は、適正に処理されていることを認めます。

市民キャビネット農都地域部会 監事 酒井千富 印
 バイオマス発電事業化促進WG 監事 手塚信利 印

<第2号議案>

NPO 法人農都会議への組織変更

本総会において、市民キャビネット農都地域部会は2016年3月31日をもって終了したことを確認する。農都地域部会及びバイオマス発電事業化促進WGの組織及び活動はNPO法人農都会議へ移行することとする。

これに伴い、いままでの農都地域部会及びバイオマス発電事業化促進WGの運営規則、活動・運営方針、細則等は終了し、今後は、NPO法人農都会議の定款等に則ることとなる。農都地域部会及びバイオマス発電事業化促進WGの残余金7,964円はNPO法人農都会議へ繰り入れする。

部会・WGの三つの基本方針（勉強会、フィールドワーク等を通じた提言とりまとめなど従来の活動の継続、「市民協働」の理念の次世代への継承、地域の事業化支援）を組織変更後のNPO法人へ引き継ぐこととする。